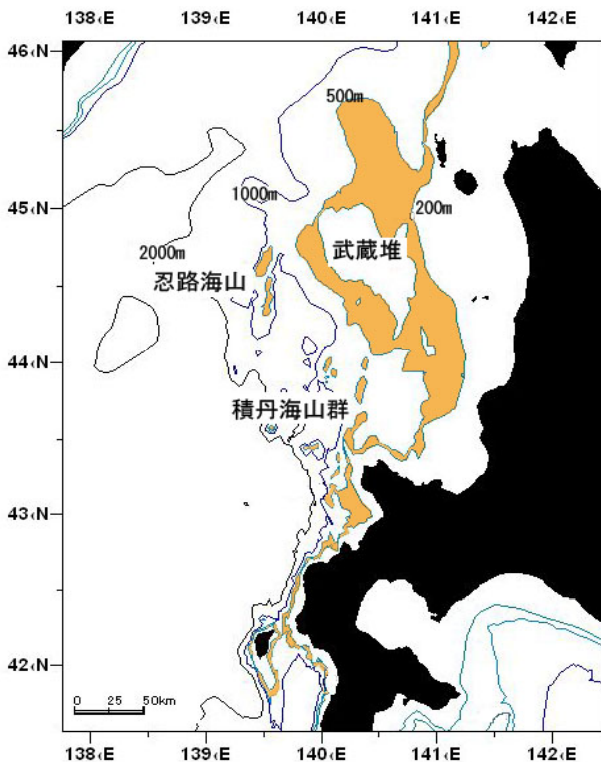




## ズワイガニ北海道西部系群 平成27年度資源評価結果

1

## 生態・漁業の状況

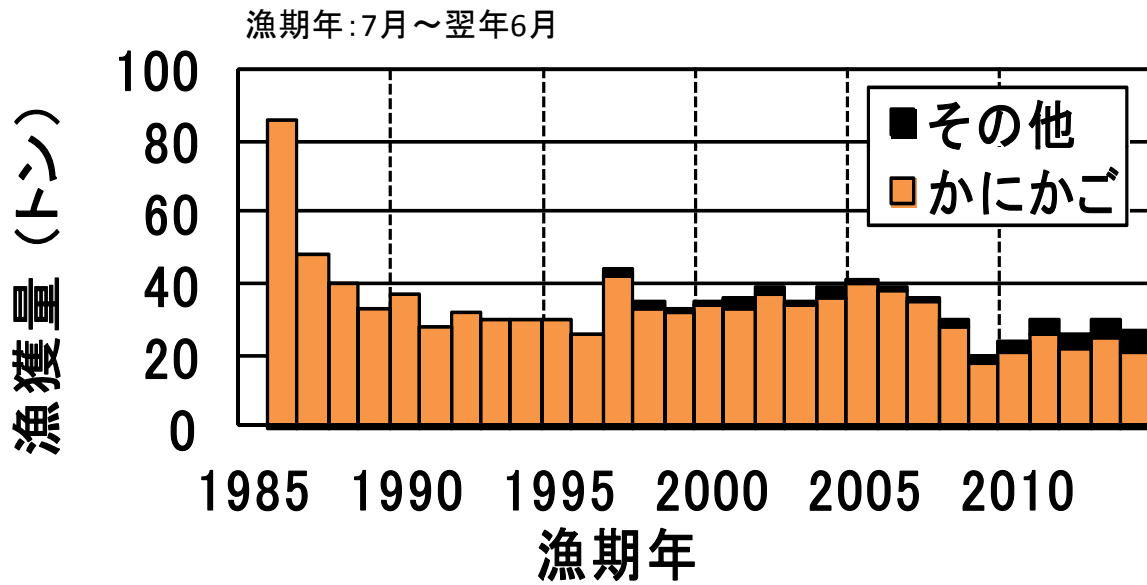


### 漁業の概要

- 知事許可漁業「ずわいがにかご漁業」が主体
- 漁期は11-4月、許可隻数は3隻  
(2009:2隻)  
(2010~:2-3隻) ←冬の荒天&単価安のため
- 努力量は海況・単価に影響される
- その他の漁業は留萌・後志の刺し網漁業(年間1-6トン)

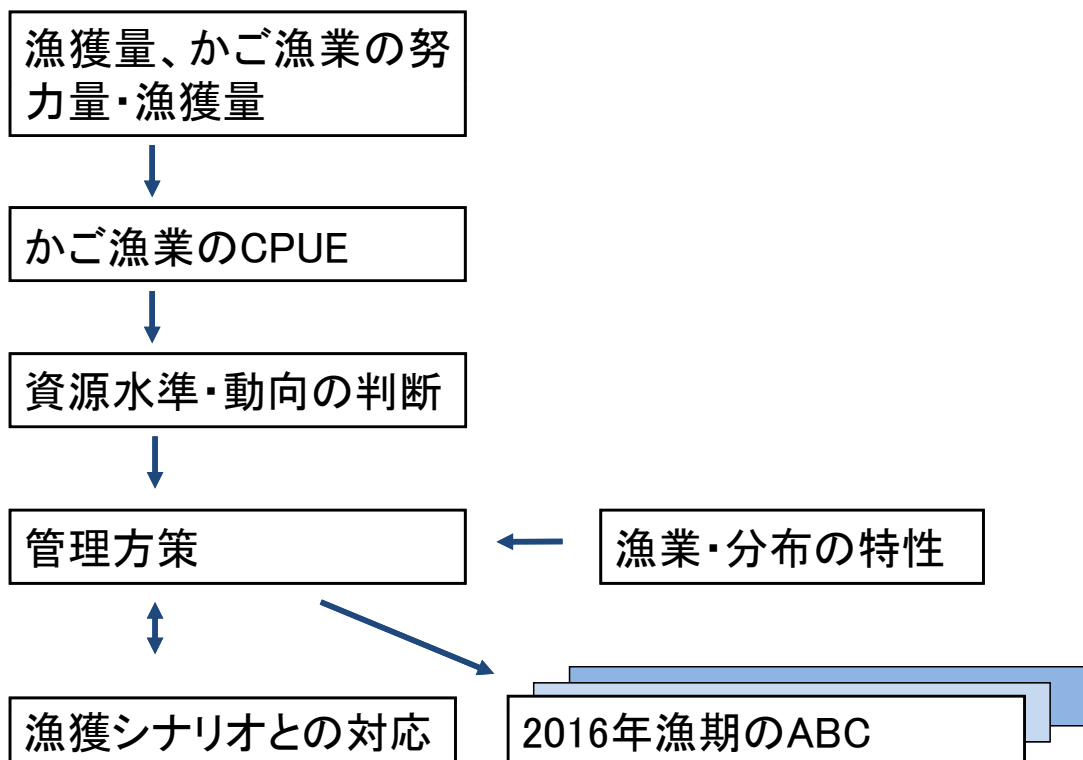
2

# 漁獲量の推移

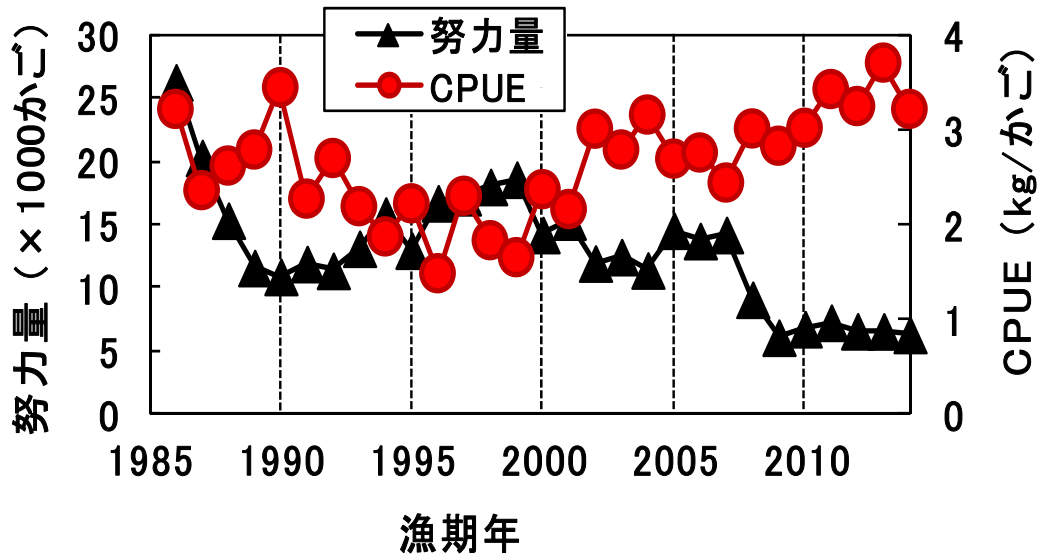


● 2014年漁期の漁獲量: 26トン

# 資源評価の流れ



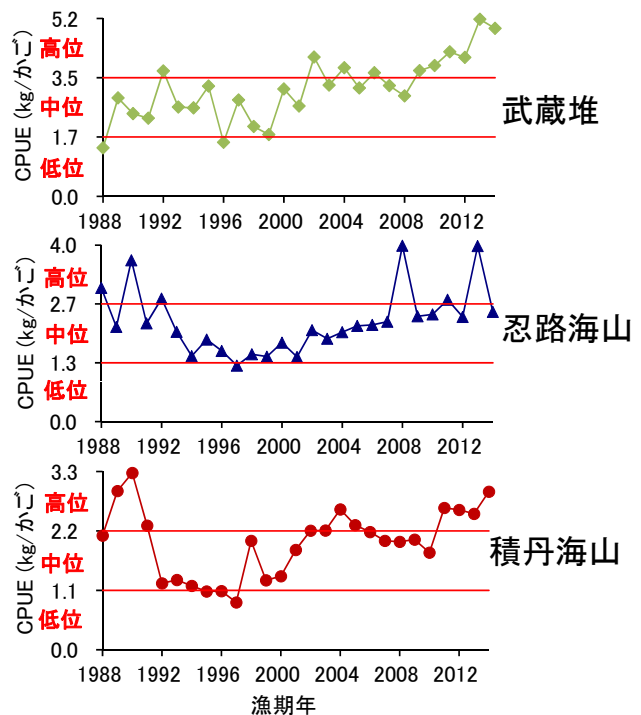
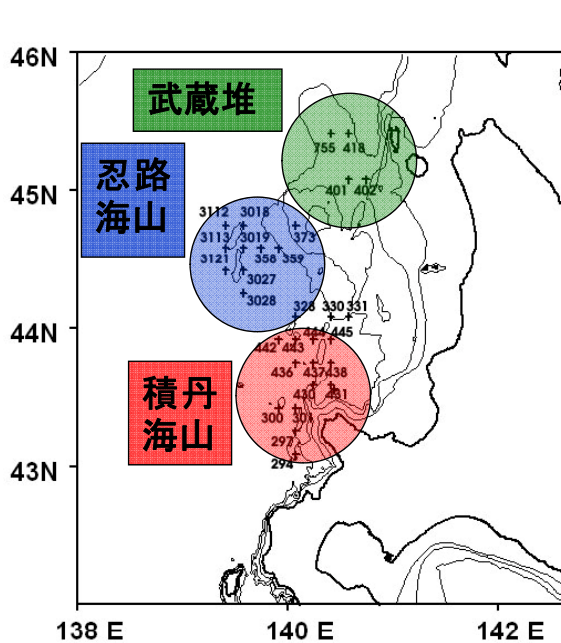
# かご漁業の漁獲努力量・資源量指標値の推移



- ・操業隻数: 1999年漁期までは5隻、その後3隻に減少。努力量は近年低い水準
- ・CPUE: 1990年代にはカゴあたり2kg程度、2000年代に入り増加、2011年漁期以降は3kgを越える

5

# かご漁業漁場別指標値の推移



- 忍路海山では中位水準、武蔵堆、積丹海山では高位
- 全体として 高位・増加と判断

6

## 資源評価のまとめと2016年漁期ABCの算定方法

- 資源評価のまとめ
  - 資源水準は高位、動向は増加(昨年度:高位・増加)
  - 資源評価に必要な情報は限定的であり、資源量推定は困難
- 資源管理の方策
  - 近年の資源状態は比較的高い水準に維持されており、知事管理のもとで制限された許可隻数で操業されていることから、近年の漁獲を継続する
- ABCの算定
  - ABC算定規則「とり残し資源量一定等の漁獲方策」
  - 現状の操業形態になった1997年漁期以降の最大漁獲量43トン

7

## 2016年漁期ABC

漁獲シナリオ (管理基準)	F値 ( $F_{current}$ との比較)	漁獲割合	将来漁獲量		評価	2016年漁期ABC
			5年後	5年平均		
1997年漁期以降の最大漁獲量*(C1997)	—	—	—	—	—	43トン
上記の予防的措置*(0.8C1997)	—	—	—	—	—	34トン

\*を付したシナリオは中期的管理方針に合致する

8